

# カルテ・レセプトチェック 機能説明書

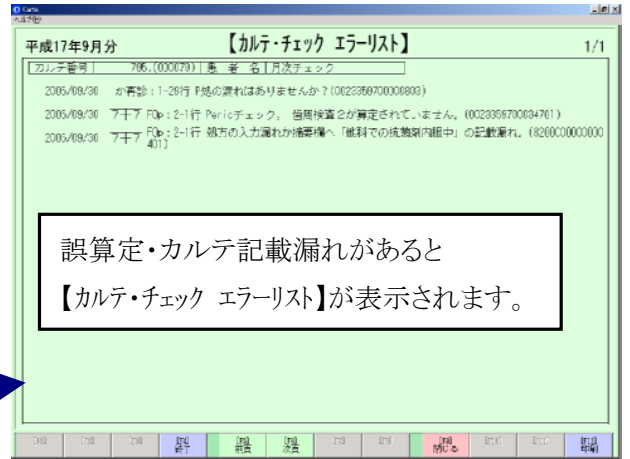
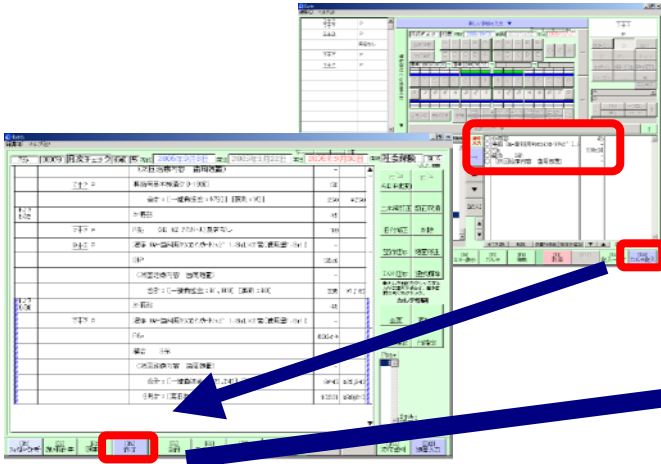
株式会社 デンタルハート

v 5. 1. 600

# 1. <カルテチェック エラーリスト確認箇所>

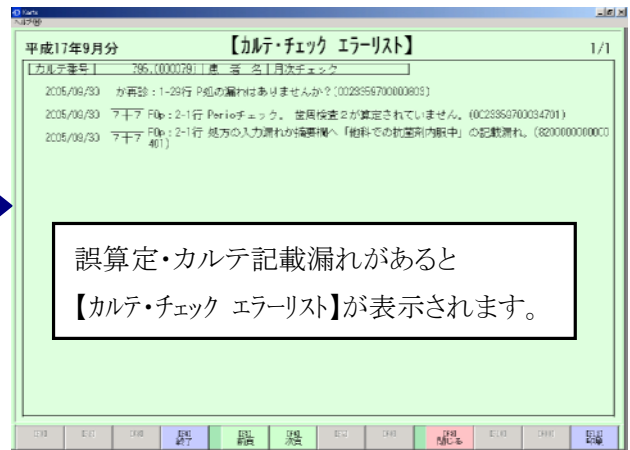
## (1)カルテ記入後のカルテチェック

処置入力画面にて処置内容算定後カルテ記入すると算定に誤りがある場合、カルテ記載漏れがある場合に【カルテ・チェック エラーリスト】が表示されます。



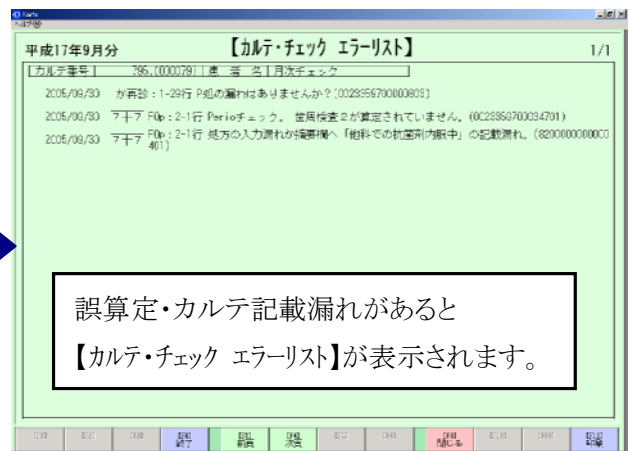
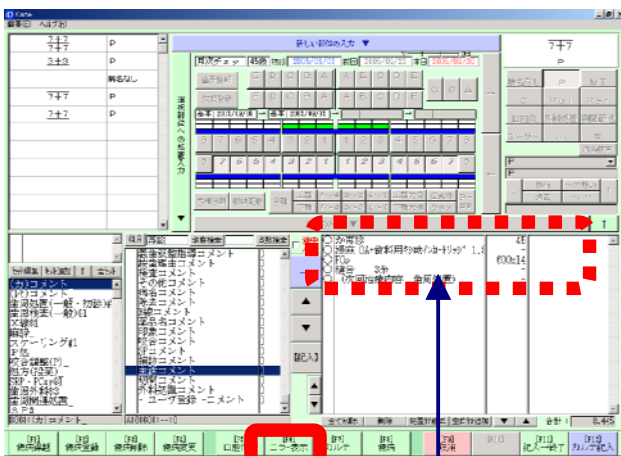
誤算定・カルテ記載漏れがあると【カルテ・チェック エラーリスト】が表示されます。

## (2)カルテ2号画面でのカルテチェック



誤算定・カルテ記載漏れがあると【カルテ・チェック エラーリスト】が表示されます。

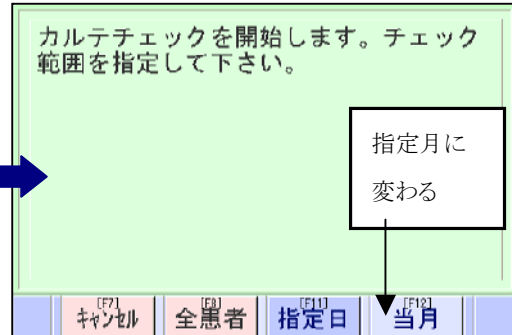
## (3)処置入力画面でのカルテチェック



誤算定・カルテ記載漏れがあると【カルテ・チェック エラーリスト】が表示されます。

※ カルテ転記していない処置内容にはチェックがかかりませんので、ご注意ください。

(4) 月別・日別毎に全患者または来院患者に対し、チェックをかけた誤算定・カルテ記載漏れ等の対象患者の一覧を表示します。



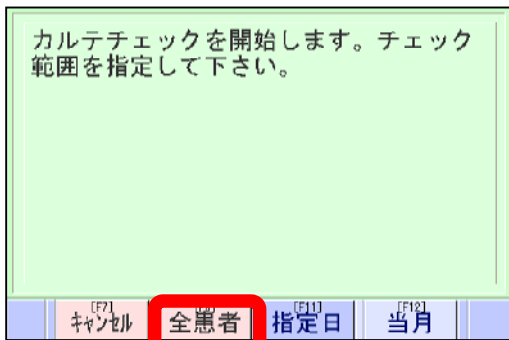
**全患者** ...月指定で全患者のカルテチェックを行います。  
 ※チェック月にカルテ入力されていない患者さんのカルテ内容もチェックします。

**指定日** ...日指定でその日のカルテ入力がある患者さんのカルテチェックを行います。

**指定月** ...月指定でその月のカルテ入力がある患者さんのカルテチェックを行います。

カルテチェックを行う患者さんの件数およびマシンのスペックによってカルテチェックを行う時間は異なります。  
 ※月単位でチェックを行う場合は、時間を要しますので業務に差し支えない時間に行ってください。

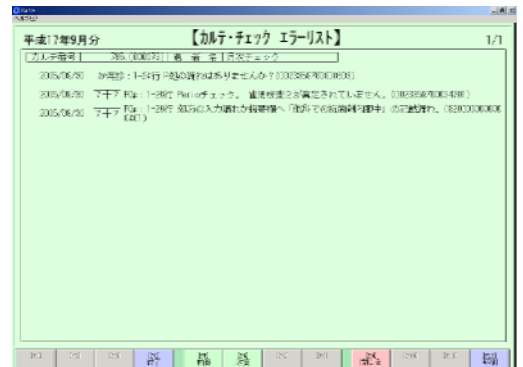
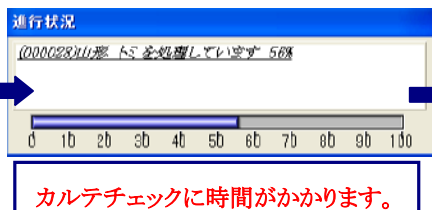
【 **全患者** 月指定での全患者カルテチェック 】



**全患者** をクリックするとカレンダーが表示されるので、カルテチェックを行う月に変更し、**実行** ボタンをクリックします。

※その月にカルテ入力がない患者さんのチェックも含め全患者のカルテチェックを行う為、時間を要しますので業務に差し支えない時間に行ってください。

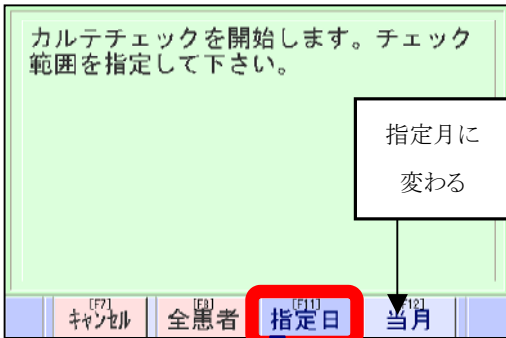
先月来院で今月来院されてない等のチェックを作成されている場合は、**全患者** でチェックをかけます。



日にちを指定しなくても、その月のカレンダーに変更し、「実行」ボタンをクリックすると該当月の1日～末日までのカルテチェックを行います。

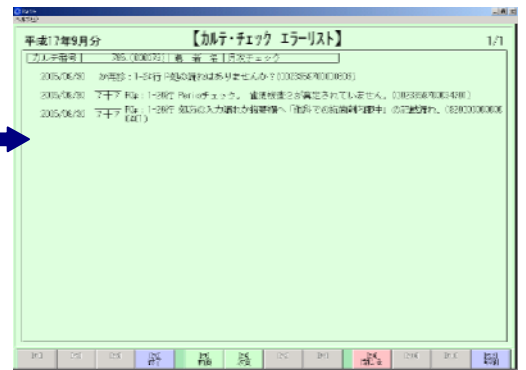
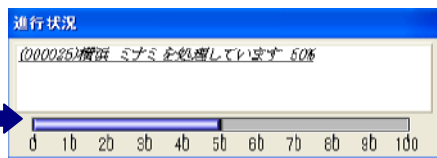
印刷を行うと自動的に【カルテ・チェックエラーリスト】の画面が終了します。

【指定日 月指定での全患者カルテチェック】

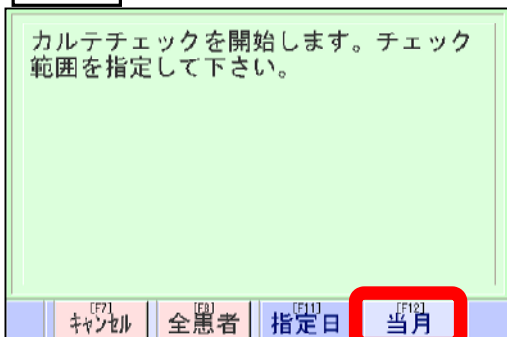


指定日 をクリックするとカレンダーが表示されるので、カルテチェックを行う日を指定し、実行 ボタンをクリックします。

指定日にカルテ入力がある患者さんのエラー該当者の一覧が表示されます。



【指定 月指定での全患者カルテチェック】

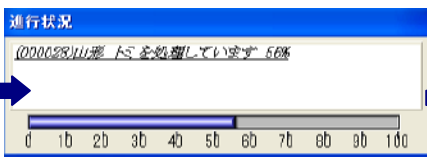


指定月 をクリックするとカレンダーが表示されるので、カルテチェックを行う月に変更し、実行 ボタンをクリックします。

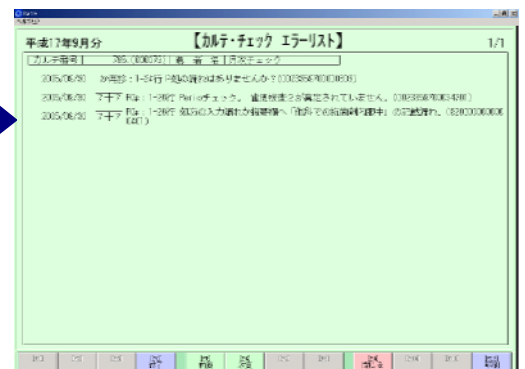
※当月にカルテ入力されている患者さんのカルテチェックを行います。

患者数によっても異なりますが、チェックに時間を要します。

カルテチェックで誤算定・カルテ記載漏れ等の該当患者さんの一覧が表示されます。



カルテチェックに時間がかかります。



日にちを指定しなくても、その月のカレンダーに変更し、「実行」ボタンをクリックすると該当月の1日～末日までのカルテチェックを行います。

印刷を行うと自動的に【カルテ・チェックエラーリスト】の画面が終了します。

## 2. <エラーマスタ編集画面に入るには>

### (1)「設定1」画面より

業務選択メニューより「F5 設定1」をクリックし、「エラーマスタ編集」をクリック。

※業務コード「04」をクリックすると直接、エラーマスタの画面が開きます。

The first screenshot shows the main menu with the following items:

- カルテ入力[37]
- 訪問診療カルテ入力[38]
- 領書入力[39]
- カルテチェック[34]
- レセプト発行[35]
- 入金管理[36]
- 患者管理[31]
- 統計資料[32]
- システム終了

The second screenshot shows the '設定1' menu with the following items:

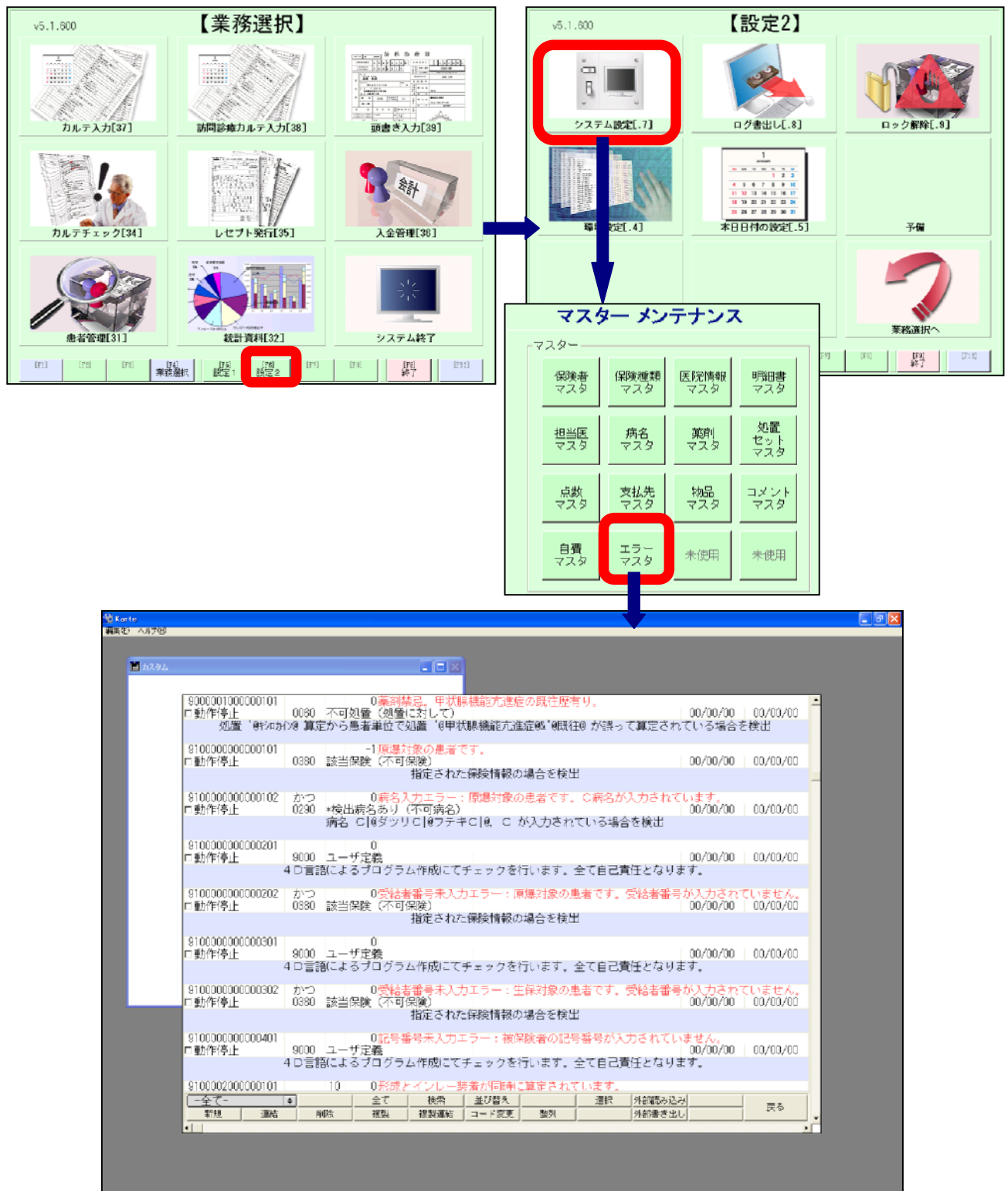
- 処置セット編集[07]
- 病名マスタ編集[08]
- 薬剤マスタ編集[09]
- エラーマスタ編集[04]
- システム情報[05]
- アップデート情報[06]
- カラー設定[01]
- リモート接続[02]
- 業務選択へ

The third screenshot shows the 'エラーマスタ' (Error Master) screen with the following data:

エラーコード	エラーメッセージ	発生頻度	発生日	発生時刻
9000001000000101	0 薬物禁忌。甲狀腺機能亢進症の既往歴あり。	00/00/00	00/00/00	00/00/00
9100000000000101	0380 該当保険 (不可保険) -1 原簿対象の患者です。指定された保険情報の場合を検出	00/00/00	00/00/00	00/00/00
9100000000000102	かつ 0 病名入力エラー：原簿対象の患者です。C病名が入力されています。*検出病名あり (不可病名) 病名 C @タツリC @フテキC @ C が入力されている場合を検出	00/00/00	00/00/00	00/00/00
9100000000000201	0 9000 ユーザ定義 4 D言語によるプログラム作成にてチェックを行います。全て自己責任となります。	00/00/00	00/00/00	00/00/00
9100000000000202	かつ 0 受給番号未入力エラー：原簿対象の患者です。受給番号が入力されていません。0380 該当保険 (不可保険) 指定された保険情報の場合を検出	00/00/00	00/00/00	00/00/00
9100000000000301	0 9000 ユーザ定義 4 D言語によるプログラム作成にてチェックを行います。全て自己責任となります。	00/00/00	00/00/00	00/00/00
9100000000000302	かつ 0 受給番号未入力エラー：生保対象の患者です。受給番号が入力されていません。0380 該当保険 (不可保険) 指定された保険情報の場合を検出	00/00/00	00/00/00	00/00/00
9100000000000401	0 記号番号未入力エラー：被保険者の記号番号が入力されていません。4 D言語によるプログラム作成にてチェックを行います。全て自己責任となります。	00/00/00	00/00/00	00/00/00
9100002000000101	10 0 形成とインレー装着が同時に算定されています。			

(2)「設定2」画面より

業務選択メニューより「F6 設定 2」をクリックし、「設定2」メニューで「システム設定」をクリックします。  
 マスタメンテナンスの中の「エラーマスタ」をクリックします。



### 3. <不要なカルテチェックを動作停止にするには>

平成17年5月分		【カルテ・チェック エラーリスト】	1/6	
カルテ番号	1	検査	名	古川 康夫
2005/05/11	初診	1-18行	カルテチェック	検査後10日を過ぎて検査が行われていません。(910080000000801)
2005/05/11	初診	1-1行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)	
2005/05/13	再診	1-21行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)	
2005/05/16	再診	1-24行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)	
カルテ番号	1	検査	名	半田 大志
2005/05/28	訪問診療	1-2-8行	訪問診療に対して「適応距離」の通知履歴がありません。(910020000000000)	
2005/05/28	訪問診療	1-2-8行	訪問診療の理由が適応理由に記載されていません。(910020000000000)	
カルテ番号	1	検査	名	半田 大志
2005/05/16	再診	2-24行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)	
カルテ番号	1	検査	名	長崎 ウズ
2005/05/27	再診	4-10行	F値の置換はありませんか？(910020000000203)	
2005/05/28	再診	3-8行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)	
2005/05/29	再診	3-12行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)	

(1) 動作停止を行うエラー内容のエラーチェックコードを確認します。

2005/05/11	か初診：1-1行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)
2005/05/13	か再診：1-21行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)
2005/05/16	か再診：1-24行	次回治療内容が記載されていません。(910080000000801)

エラーチェックコード

3000001000000101	0060	不可処置 (処置に対して)	00/00/00	00/00/00
9100000000000101	0380	該当病院 (不可保険)	00/00/00	00/00/00
9100000000000102	かつ	対象の患者です。C病名が入力されています。	00/00/00	00/00/00
9100000000000201	9000	4D言語処理	00/00/00	00/00/00
9100000000000202	かつ	対象の患者です。受給者番号が入力されていません。	00/00/00	00/00/00
9100000000000301	9000	4D言語処理	00/00/00	00/00/00
9100000000000302	かつ	対象の患者です。受給者番号が入力されていません。	00/00/00	00/00/00
9100000000000401	9000	4D言語処理	00/00/00	00/00/00
9100000000000401	10	0カルテチェック 検査後10日を過ぎて検査が行われていません。	00/00/00	00/00/00
9100000000000401	0280	*検出処置なし (必要処置)	00/00/00	00/00/00

(2) エラーマスタ編集画面を表示します。

左下の「-全て-」ボタンをクリックします。

エラーコードの頭8桁のコード一覧が表示されます。

該当の頭8桁の番号を選択します。

-全て-	40000000	40910080	40990045	40990095	40999645	40999900	50000000	90000010	91000000	91000020	91002000	91008000	91008200	99001000	99007000	99009600	99009700	99009800	99009900
------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

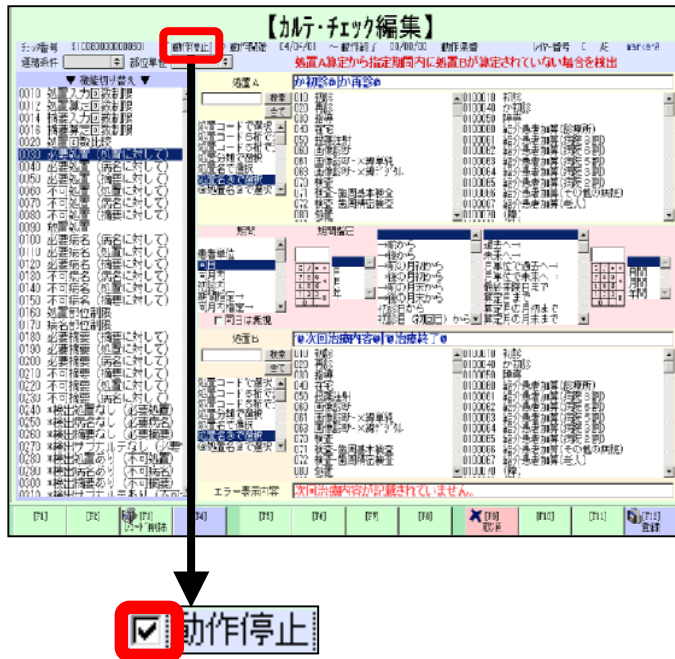
該当のエラーチェックコードをクリックし、選択します。

選択した状態で「整理」ボタンをクリックします。

複数の条件で構成されたエラーチェックが反転されます。

(複数の条件で構成されていないものは1件だけ選択された状態になります。)

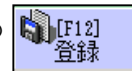
9100800000000301	0030	必要処置 (処置に対して)	00/00/00	00/00/00	
9100800000000401	30	0カルテチェック 検査後10日を過ぎて検査が行われていません。	00/00/00	00/00/00	
9100800000000501	0030	必要処置 (処置に対して)	00/00/00	00/00/00	
9100800000000601	10	0カルテチェック 検査後10日を過ぎて検査が行われていません。	00/00/00	00/00/00	
9100800000000602	かつ	10	-1	00/00/00	00/00/00
9100800000000801	0030	必要処置 (処置に対して)	2004/04/01	00/00/00	
9100800000000802	かつ	-1	00/00/00	00/00/00	
9100800000000801	0030	必要処置 (処置に対して)	2004/04/01	00/00/00	
9100800000000802	かつ	-1	00/00/00	00/00/00	



(3) 反転されたそれぞれのチェックマスタをダブルクリックで開き、動作停止 にチェックを入れます。



右下の



ボタンをクリックします。

以上の手順で動作停止を入れて頂くと、不要なカルテチェックの動作を停止することができます。

補足:<カルテ入力中にエラーマスタ編集画面に入るには>

**※通常は絶対にこの操作を行わないでください。**

**LAN のユーザー様は、この操作を行う場合は、事前に他の全てのクライアントが終了している事をご確認ください。**

(1)カルテ2号画面・処置入力画面より

カルテ2号画面・処置入力画面でキーボードの「Ctrl」キー+「Shift」キーを押したまま、「む」キーを押すとエラーマスタ編集画面を呼び出す事ができます。

